



育活動と指導者同士の交流を図ることでピアノ愛好家のレベルアップの均一化を実践している。

こうした組織網は全国の楽器店からも支持を得るところとなり、指導者の資質向上と日本におけるピアノ文化振興の一翼を担っていることは周知の通り。

四十周年を飾るハイライトともいえる『夕べ』には、渡邊一正指揮、NHK交響楽団を迎えた。ソリスト三人は、過去五年間を象徴する金子一郎、須藤梨奈、関本昌平の三人。共にピティナ・コンペティションで特級グランプリなど優秀な成績を収めており、ラヴェル、リスト、ラフマニノフのコンチエルトを次々に披露。ピティナで指導する立場にある者、並びに学ぶ者に新たな指標を示したことは想像に難くない。思い出に残る素晴らしい一夜となった。(小川)

ピティナ40周年記念 コンチエルトの夕べ

創立四十周年を迎えた社団法人全日本ピアノ指導者協会（PTNA／羽田孜会長）は、三月二十八日、サントリーホールで『ピアノコンチエルトの夕べ』を開催した。

一九六六年、故福田靖子氏によって創立された同協会は、欧米のピアノ指導者団体及び世界の音楽大学とも提携を結ぶなど国際的に認められた存在。日本国内には一万五千人の会員と、二百九十に及ぶ支部・連絡所・ステーションが散在し、地域に密着したピアノ教